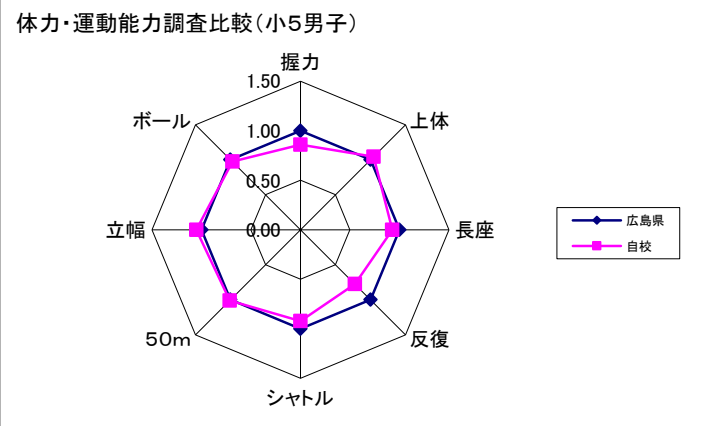
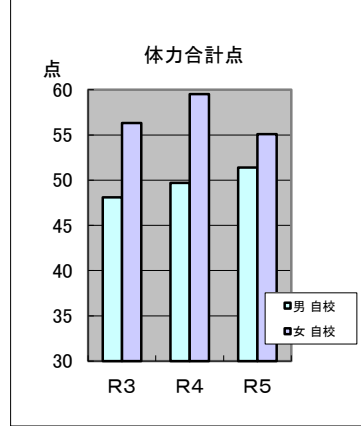
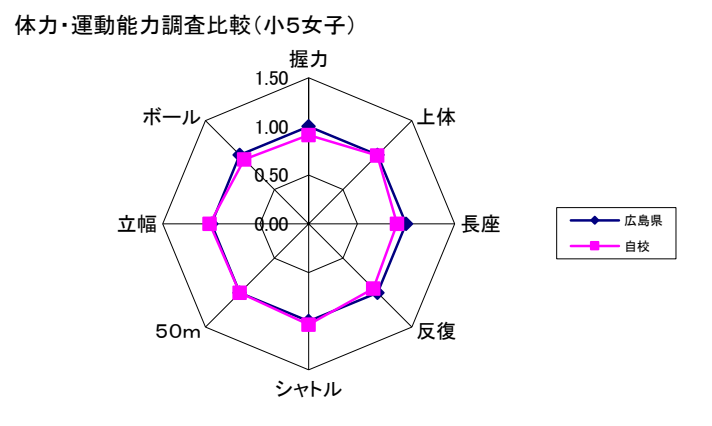


男子の体力合計点 学校 51.4 点 県平均 54.16 点



女子の体力合計点 学校 55.1 点 県平均 56.22 点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

**結果と分析**

① 50m走(呉市の課題種目)  
 5年生男子は全国平均・県平均共に上回っている。  
 5年生女子は県平均は上回ることができたが、全国平均はまだ下回っている。  
 前年度と比べて記録が伸びたブロックが6/12であり、運動会で全学年が走の種目を取り入れたことや、教科体育での走の取組の充実によって、一定の成果が出たと考える。

②20mシャトルラン(中学校区の課題種目)  
 5年生男子は全国平均・県平均共に下回っている。  
 5年生女子は全国平均・県平均共に上回っている。  
 前年度と比べて記録が伸びたブロックが8/12あり、持久走の取組や、なわとび検定を継続したことで、一定の成果が出た。

③ソフトボール投げ(自校の課題種目)  
 5年生男子・女子共に、全国平均・県平均を下回っている。  
 前年度と比べて記録が伸びたブロックが7/12であり、一定の成果が出たが、学校全体で、ボールを投げる機会がまだ不足している。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のダッシュリレーなど、走力を鍛える種目に全校で継続的に取り組む。 ・立った姿勢からだけでなくいろいろな姿勢から素早く走る運動を行う。
具体的な数値目標 (男子0.1秒, 女子0.1秒短縮)	
②中学校区の課題種目 (20mシャトルラン)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育の学習の中で、持久走やなわとびを取り入れ、持久力を高めさせる。 ・児童が自分の記録を客観的に見ることができ環境を作ったり、持久走カードに「日本一周にチャレンジ!」「全国制覇にチャレンジ!」、なわとびカードにチャレンジコースを作ったりすることで、持久力向上への意欲を持たせる。 ・授業開始時に3分間走を定期的に行う。(中学校区の取組)
具体的な数値目標 (男子3回, 女子3回増加)	
③自校の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容 ・運動場に「的当て」を設置し、遊びを通してボールを投げる経験を積ませる。 ・体育の時間や、休憩時間にボールを使って投げる運動や腕の力を使う運動に取り組めるようにする。
具体的な数値目標 (男子2m, 女子2m)	

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)